

平成25年行政事業レビューシート (内閣府)

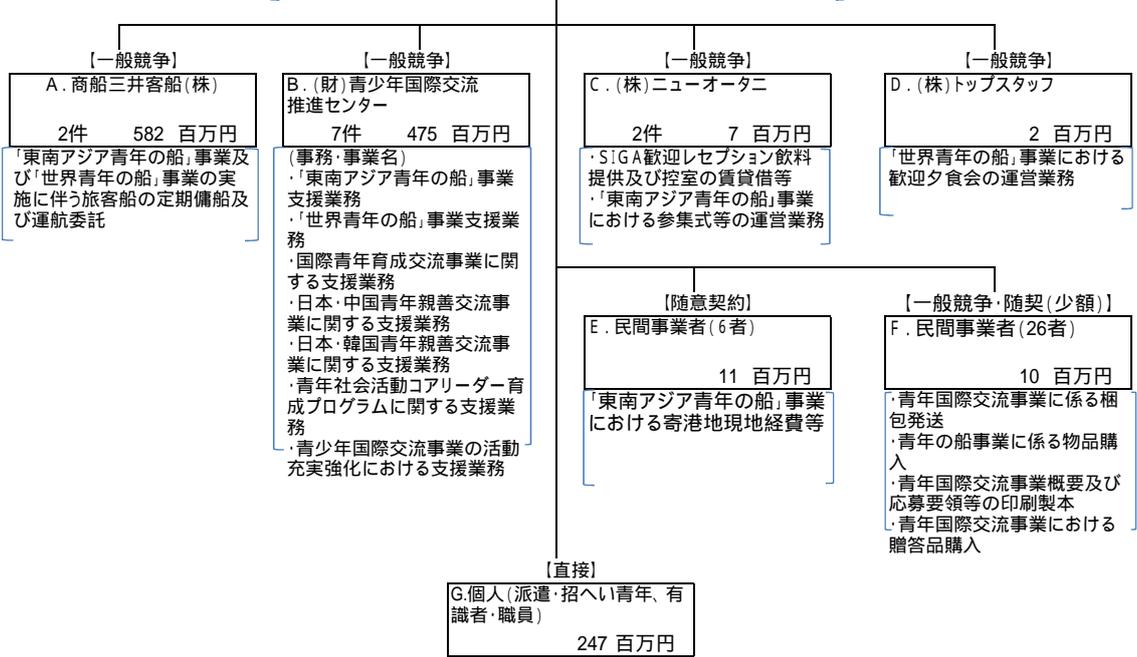
事業名	青年国際交流経費		担当部署	政策統括官(共生社会政策担当) (子ども・若者子育て施策総合推進室)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和34年度		担当課室	参事官(青年国際交流担当)		参事官 伊藤信		
会計区分	一般会計		政策・施策名	58青年国際交流の推進(政策12-施策)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法 第4条第3項二十七 青少年の健全な育成に関する関係行政機関の事務の連絡調整及びこれに伴い必要となる当該事務の実施の推進に関する事		関係する計画、通知等	「子ども・若者ビジョン」(平成22年7月23日 子ども・若者育成支援推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神やリーダーシップを持った青年を育成する。 国境を越えた青年相互の友好と理解を促進し、長期にわたる緊密な人的つながりを形成する。 に加え、国家間の友好・親善を推進する重要な事業として実施することにより、我が国の外交及び国際交流の基盤形成に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を実施。 ・わが国及び諸外国から選抜された参加青年が、世界的な共通課題についての研究・討議、自国文化の紹介などの各種交流活動、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換、船内での共同生活、訪問国でのホームステイなどを行う。 ・参加青年は、各国の代表者として、皇太子殿下の御接見などを賜ったり、各国の元首級等を表敬訪問。 ・これまでに、日本青年約16,000人、外国青年約19,000人が事業に参加。日本を含む世界50カ国以上で事後活動組織が設立され、世界的なネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	1,565	1,464	1,312	1,052	1,344	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	1,565	1,464	1,312	1,052	1,344		
	執行額	1,661	1,545	1,333				
執行率(%)	106.1%	105.5%	101.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業参加者が青年本人の将来に役立つと思う者の割合		成果実績	%	93	94	90	90
			達成度	%	103.3%	104.4%	100.0%	
	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業を通じて参加青年本人と参加国の人と相互理解と友好が深まったと思う人の割合		成果実績	%	-	-	83	90
			達成度	%	-	-	92.2%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際青年育成交流事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業、青年社会活動コアリーダー育成プログラムにおいて、日本青年と外国青年の交流を行っている。		活動実績 (当初見込み)	人	日本参加青年 296人 外国参加青年 567人	日本参加青年 305人 外国参加青年 565人	日本参加青年 287人 外国参加青年 494人	
					日本参加青年 315人 外国参加青年 581人	日本参加青年 315人 外国参加青年 569人	日本参加青年 285人 外国参加青年 498人	日本参加青年 244人 外国参加青年 476人
単位当たりコスト	45,666 (円/日数×人数)		算出根拠	事業のための予算執行額 / 事業参加人数・交流日数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	505	418	グローバルユースリーダー事業を新規要求したため。 「新しい日本のための優先課題推進枠」503				
	職員旅費	12	14					
	青年海外派遣旅費	15	17					
	委員等旅費	1	1					
	外国人招へい旅費	90	142					
	庁費	4	4					
	青年の船運航費	425	747					
計	1,052	1,344						

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			・グローバル人材の育成は、我が国の最重要課題の一つ。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			・「子ども・若者ビジョン」において国際交流活動を育成施策の一つとして位置付けている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			・国家間の友好・親善を推進する重要な事業であり、国が実施する必要がある。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			・支出先の選定に当たっては、基本的に一般競争入札を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			・毎年事業内容の見直しを行うとともに、既参加青年を始めとするボランティアの支援等により、経費の削減に努めている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			・日本参加青年の参加費については、応分の費用負担とするため、見直しを行い、近年は負担額を増加させている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			・グローバル化に対応した青年層の育成と外交・国際交流の基盤形成に資する事業として、高く評価されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			・成果目標の達成度はおおむね達成しており、活動実績も見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			・事業に参加した青年が組織する日本及び世界50か国以上に設立された各国事後活動組織は、ネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>・経費については、参加国数、事業日数の絞込みなどの事業内容の見直しや効率化を進め、可能な限りの縮減を図っている。青年国際交流事業は、青年の国際交流を通じた外交基盤の強化と青年の育成という二つの観点から重要な事業であり、今後とも、効率化を図りながら、その内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>・予算執行額が予算を上回っている現状を踏まえ、予算の見直しを進めるとともに、引き続き地方自治体や青少年団体等による支援・協力を求めるなどを通じて、予算の一層の効果的・効率的な執行に努める。</p> <p>・参加青年は、事業参加後に国際機関や各国の政財界を含む多様な分野で活躍している。また、国境を越えた生涯にわたる強い人的つながりが築かれており、非営利の活動団体「日本青年国際交流機構」及び世界50か国以上で形成された事後活動組織を中心に、人的なネットワークを発展させるとともに、東日本大震災支援や途上国教育支援をはじめ、青少年育成や国際交流など様々な事後活動を活発に展開している。なお、日本参加青年のほぼ全員が、事業参加後に日本青年国際交流機構に入会している。(平成24年度はすべての参加者が入会)</p> <p>・このような事業効果を対外的に発信し、事業の意義について理解を求めていくことが大切であることから、引き続き、ネットワークの形成状況、既参加青年の各界での活躍や社会貢献活動等の事後活動実績等を含め、より多角的な事業効果の取りまとめ・点検を行っていくこととしている。また、「青年国際交流事業に関する検討会」を実施し、より効果的・効率的な事業の実施を目指す。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業効果の取りまとめ・点検を行った結果を、レビューに反映させるなど、国民に分かりやすく公表していくこと。また、引き続き効果的、効率的な執行に努め、予算の範囲内の執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	有識者による「企画・評価委員会」を実施し、PDCAサイクルの強化、効果の「見える化」の検討を行う。				
備考					
<p>平成24年度行政事業レビュー公開プロセス(0131) 青年国際交流経費 【結果】廃止 【取りまとめコメント】 全体プログラム、スキームの大幅な見直し、改善、効果測定が無い限り、廃止するべきである。様々な御意見があったことを踏まえつつ、十分検討し対応する。</p> <p>「青年国際交流事業の効果測定・評価に関する検討会」(平成24年7月に3回開催)中間報告 http://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/kouka_kentoukai/index.html 中間報告のポイント:グローバル人材の育成が急務となる中、青年国際交流事業について必要な見直しを行いつつ、発展的に継続すべき。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0127	平成23年	0134	平成24年	0131

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府政策統括官
(共生社会政策担当)
1,333 百万円

日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 商船三井客船(株)			E. TRAVEX CO.,LTD		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備船料		406	借料	タイ 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	3
運航経費	港費、燃料費、運航消耗品費、供食費等	138			
運航委託手数料		38			
計		582	計		3
B. (財)青少年国際交流推進センター			F. 朝日梱包(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員の人件費	117	雑役務費	書類の梱包発送	2
旅費	職員等の旅費	108			
会議費	レセプション、飲料、弁当、茶菓等	59			
諸謝金	講師、通訳、実行委員への謝金	56			
借料	会場、バス、トラック、コピー機、PC等	47			
その他	一般管理費	42			
雑役務費	文具、保険料、入場料、謝礼品、工芸材料費等	33			
印刷製本費	資料印刷費	13			
計		475	計		2
C. (株)ニューオータニ			G. 職員A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	レセプション	5	賃金	人件費	3
借料	会場の賃借料	2			
役務費	看板外	0			
計		7	計		3
D. (株)トップスタッフ					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	レセプション	1			
借料	会場の賃借料	0			
役務費	看板外	0			
計		2	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 商船三井客船(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	商船三井客船(株)	東南アジア青年の船事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託	411	1者	-
2		世界青年の船事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託	171	1者	-

B. (財)青少年国際交流推進センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)青少年国際交流推進センター	「東南アジア青年の船」事業支援業務	141	1者	-
2		「世界青年の船」事業支援業務	109	1者	-
3		国際青年育成交流事業に関する支援業務	85	1者	-
4		青年社会活動コアリーダー育成プログラムに関する支援業務	75	1者	-
5		日本・韓国青年親善交流事業に関する支援業務	29	1者	-
6		日本・中国青年親善交流事業に関する支援業務	12	1者	-
7		青少年国際交流事業の活動充実強化における支援業務	25	1者	-

C. (株)ニューオータニ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニューオータニ	「東南アジア青年の船」事業における参集式等の運営業務	5	2者	-
2		SiGA歓迎レセプション費及び控室の賃貸借等	2	随意契約	

D. (株)トップスタッフ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)トップスタッフ	「世界青年の船」事業における歓迎夕食会の運営業務	2	1者	-

E. 民間事業者(6者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	TRAVEX CO.,LTD	タイ 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	3	随意契約	
2	KENTOS SERVICES PTE LTD	シンガポール 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	2	随意契約	
3	Freem Travel Services Sdn Bhd	ブルネイ 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	2	随意契約	
4	PT.Panda Travel Agency Indonesia	インドネシア 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	2	随意契約	
5	TOMATECO TOURIST	ベトナム 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	1	随意契約	
6	TRAVEX MYANMAR	ミャンマー 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	0	随意契約	

F. 民間事業者(26者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	朝日梱包(株)	平成25年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集関係書類の梱包発送等	2	随契(少額)	
2	メディアランド(株)	青年国際交流事業 事業概要及び応募要領等の印刷製本	2	随契(少額)	
3	(株)善光堂印刷所	「東南アジア青年の船」事業、「世界青年の船」事業に係る印刷製本	1	随契(少額)	
4	富士ゼロックス(株)	複写機の借上げ・保守及び搬入出作業一式	1	随契(少額)	
5	(株)パノラマ・ホテルズ・ワン	「東南アジア青年の船」事業に係る会議費	1	随契(少額)	
6	(株)第一文真堂	「世界青年の船」事業に係る備品等の購入、文房具等の購入	1	随契(少額)	
7	(株)祐馬工芸	外国参加青年等に対する贈与品の購入	0	随契(少額)	
8	(株)三陽堂	「世界青年の船」事業に係る物品等の購入、文房具等の購入	0	随契(少額)	
9	(株)秋山商会	「東南アジア青年の船」事業に係る物品等の購入	0	随契(少額)	
10	(株)あまの創建	医薬品等の購入	0	随契(少額)	

G. 個人(派遣・招へい青年、有識者・職員)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	人件費	3	-	-
2	職員B	平成24年度「日本・韓国青年親善交流」事業(第26回)のための事前調査 他 旅費	2	-	-
3	職員C	人件費	2	-	-
4	職員D	人件費	1	-	-
5	招へい青年a	世界青年の船事業参加 他 旅費	1	-	-
6	職員E	人件費	1	-	-
7	招へい青年b	世界青年の船事業参加 他 旅費	1	-	-
8	招へい青年c	世界青年の船事業参加 他 旅費	1	-	-
9	職員F	人件費	1	-	-
10	招へい青年d	世界青年の船事業参加 他 旅費	1	-	-